

第5学年2組 道徳学習指導案

平成28年10月6日(木) 第3校時

指導者 教諭 篠原 麻衣

- 1 主題名 たがいに信頼し、学び合って 内容項目 [B 友情、信頼]
- 2 ねらい よりよい友達関係を築くために大切なことを考えることを通して、相手の気持ちや立場を考えながら、互いに信頼し合い、友情を深めようとする態度を育てる。
- 教材名 「知らない間の出来事」 (出典:「私たちの道徳 小学校5・6年」文部科学省)

3 主題設定の理由

(1) ねらいや指導内容について

小学校第5学年及び第6学年の指導の観点は、「友達と互いに信頼し、学び合って友情を深め、異性についても理解しながら、人間関係を築いていくこと。」である。

この時期の児童は、これまで以上に友達を意識し、仲のよい友達との信頼関係を深めていこうとする。また、流行などにも敏感になり、趣味や嗜好を同じくする閉鎖的な仲間集団を作る傾向も生まれる。そのため、友達関係での悩みをもつことが今まで以上に見られるようになることから、健全な友達関係を育てていくことが重要になる。

指導に当たっては、友達同士の相互の信頼の下に、協力して学び合う活動を通して互いに磨き合い、高め合うような、真の友情を育てるとともに、互いの人格を尊重し合う人間関係を築いていくようにすることが大切である。

(2) これまでの学習状況及び児童の実態について

本学級の児童は、1学期の宿泊体験学習を通して、友達と協力して活動する楽しさや互いに助け合うよさを感じている児童が多かった。また、2学期の運動会や親善球技大会に向けても、友達同士でお互いのよさを認め合ったり生かしたりしながら練習し、男女で協力する姿が多く見られるようになった。

(略)

そこで、よりよい友達関係を築くには、互いを認め合い、相手の立場や気持ちを考えて互いを理解し合うことが大切であることに気付き、信頼感や友情を育んでいこうとする態度を育みたいと考える。

(3) 教材の特質や活用方法について

本教材は、転入してきたあゆみとみかのそれぞれの回想が書かれている。みかが送った軽率なメールをきっかけとして、あゆみを傷つけてしまう人間関係のトラブルを題材としている。本学級の児童の実態を受け、主に次の場面を中心に話し合うことにする。

- ①あゆみが携帯電話を持っていないことを知った場面では、みかの驚きや落胆する気持ちをとらえられるようにする。
- ②帰りの会で、あゆみの気持ちを知った場面では、みかが自分で送ったメールが原因であゆみを傷つけてしまったことに気付くことができるようにする。また、勇気を出して自分の思いを伝えたあゆみの姿から、友達との付き合い方で大切なことを考えられるようにする。
- ③あゆみに電話しようとしている場面では、誤解を招いてしまった反省の気持ちやこれから仲良くしていきたいという気持ちをとらえ、信頼し合うためには互いに理解し合うことが大切であることを考えられるようにする。

以上の理由から、本主題を設定した。

4 小中一貫教育の視点

(1) 学習内容について

【これまで】第3学年及び第4学年での「友達と互いに理解し、信頼し、助け合うこと。」を受けている。

【これから】中学校では、「友情の尊さを理解して心から信頼できる友達をもち、互いに励まし合い、高め合うとともに、異性についての理解を深め、悩みや葛藤も経験しながら人間関係を深めていくこと。」へと発展していく。

(2) 学習指導について

授業では、みかとあゆみそれぞれの立場からこの出来事を捉え、互いに信頼し合えるよりよい友達関係を築くために大切なことは何かについて考えられるようにしたい。また、情報モラルにも関する教材であるため、メールの影の部分についても考えさせ、その危うさを理解させるとともに、情報機器の活用に当たっては、慎重な行動が不可欠であることも認識できるようにしたい。

5 学習指導過程

段階	学習活動・主な発問	予想される児童の発言	指導上の留意点 ☆評価の観点
導入	1 「友達関係」に関するアンケート結果を見て話し合う。 学習課題を知る。	<ul style="list-style-type: none"> 協力したり、助け合ったりするのがよい友達 信頼し合えるのがよい友達関係。 	<ul style="list-style-type: none"> アンケート結果から、ねらいとする道徳的価値について問題意識がもてるようにする。
		よりよい友達関係を築くためにはどんなことが大切なのだろう。	
展開	2 「知らない間の出来事」の読み聞かせを聞き、話し合う。 (1) あゆみが携帯電話を持っていないことを知ったみかは、どのようなことを思ったのでしょうか。 (2) 帰りの会の時、あゆみの気持ちを知ったみかは、どのようなことを考えたのでしょうか。 ・ どうしてこのようなトラブルが起きたのでしょうか。 ・ みかに足りなかったと	友達がいてよかったという経験は全員がしているが、8割は友達とうまくいかなかった経験がある。この実態から学習課題を設定した。 <ul style="list-style-type: none"> どうして持っていないの。 連絡取れなくてがっかり。 仲良くなれないかも。 携帯電話持っていないなんて、友達いないのかな。 あゆみさんにひどいことをしてしまった。 どうしよう。そんなつもりで送ったわけではないのに。 あゆみさんに謝りたい。 みかの思い込みでメールを送ってしまったこと。 あゆみさんの気持ちを考えなかったところ。 	<ul style="list-style-type: none"> 転入生のあゆみと友達になりたいと思っているみかの気持ちを押さえる。 友達になれると思っていたあゆみが携帯電話を持っていないことを知ったみかの驚きや落胆する気持ちをとらえられるようにする。 自分が送ったメールが原因であゆみを傷つけてしまったことに気づき、動揺し反省するみかの気持ちをとらえられるようにする。 情報モラルの観点から、メールの怖さ(拡散することや内容が変わっていくこと等)についても考えられるようにする。

	<p>ころは何でしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達との付き合い方であゆみが大切にしていることは何でしょう。 <p>(3)あゆみに電話しようとしているみかは、どのようなことを伝えようとしているのでしょうか。</p> <p>3 学習課題について考えをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よりよい友達関係を築くためにはどんなことが大切なのでしょう。 <div data-bbox="212 1137 512 1339" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>学習課題に対して、一人一人が答えを導き出した後、グループで話し合い多様な考え方に気づき、多面的・多角的な見方ができるようにする。</p> </div> <div data-bbox="212 1368 512 1525" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>児童が自分自身とじっくり向き合うことができるように、道徳ノートに書く活動を取り入れる。</p> </div> <p>4 今までの自分を振り返り、これからの生き方について考える。</p>	<div data-bbox="539 197 975 315" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>登場人物を客観的に見る発問や道徳的な問題に気づかせる発問を取り入れ、ねらいに迫る発問の工夫を行う。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の思いを伝えること。 ・大事なことは直接伝えること。 <ul style="list-style-type: none"> ・あゆみさんに悲しい思いをさせてごめんなさい。 ・本当は仲良くしたかったのに、勝手にメールを送ってごめんね。これから仲良くしていきたいの。 <ul style="list-style-type: none"> ・友達の気持ちを考えて接することが大切。 ・直接、友達に会って友達の思いも聞きながら、自分の思いを伝えていくことが大切。 <div data-bbox="555 1227 810 1368" style="text-align: center;">  </div> <ul style="list-style-type: none"> ・これからは相手の気持ちや立場を考えて、自分の考えを伝えられるようにしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・あゆみの言動から、大事なことは直接相手に伝えることが大切であることに気付けるようにする。 <ul style="list-style-type: none"> ・誤解を招いてしまった反省の気持ちやこれから仲良くしていきたいという気持ちをとらえ、信頼し合うためには互いに理解し合うことが大切であることを考えられるようにする。 <ul style="list-style-type: none"> ・書く活動を通して、一人一人が学習課題に対して答えを導き出せるようにする。 ・グループで話し合うことで、多様な考えに気づき、考えを深めたり広げたりする。 <p>☆相手の気持ちを考えながら互いに信頼し合うことの大切さを理解することができたか。</p> <p style="text-align: center;">【ノート記述、発言】</p> <p>→なかなか記述できない児童には、友達の意見を参考にし、今日学んだことについて考えられるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの自分を見つめることで、自分の課題やよさに気付くことができるようにする。
終末	5 教師の話聞く。		<ul style="list-style-type: none"> ・相手に思いを伝える難しさについての話をし、相手を正しく理解し、信頼し合える友達関係を築こうとする意欲を高める。

6 他の教育活動との関連

- ・体育科の「バスケットボール」や親善球技大会に向けて、友達と協力し合う活動を通して、互いのよさや違いを認め、互いに磨き合い、高め合える友情を育んでいく。

- ・日常生活では、相手の気持ちや立場を考えて行動したり、自分の思いを伝えたりできるようにすることで、相手を正しく理解し、信頼し合える友達関係を築けるようにする。

7 評価の観点

〈児童の学習状況の評価〉

- ・学習課題をもとに、これまでの自己を見つめ、相手の気持ちを考えながら互いに信頼し合うことの大切さを理解することができたか。

〈児童の道徳性に係る成長の様子の評価〉

- ・相手の気持ちや立場を考えながら、互いに信頼し合い、友情を深めようとする意欲が高まったか。

8 板書計画

知らぬ間の出来事
趣味はまんが

友達にやさしい
一緒にまんがかきたい
仲よくなりたい

携帯電話を持っていない

あゆみ (転入生)

みか

友達にやさしい
かっかり、残念
なんで持っていないの
友達にやさしい
みんなに知らせよう
軽い気持ち

今度の転校生、携帯持っていないんだって。友達あまりいないみたい。これは難題だね。

今度の転校生は、携帯を持っていないから、仲間外れになって、この学校に入ってきたらしい。

今度の転校してきたあゆみさんは、前の学校で仲間外れになっていたため、この学校に転校してきたんだって。

メール
ほとんど広がる
内容が変わって
伝わっていく

自分の思いのみでメール
あゆみの気持ちを考え
ていない
勇気を出して言う
「ごめんね、ごめんね」
「ごめんね、ごめんね」
大事なことは
直接伝える

勝手にメールを送った、めんばい
本当は仲良かったんだの

よりよい友達関係を築くためには
友達のことを考えて持つ
勝手に思いこまないで、相手と
コミュニケーションをとる
友達の話よく聞く
自分の思いを伝える

自分の自分のこと
ばかりのこと
と、これからの自分

〈児童の道徳ノート〉

よりよい友達関係を築くためには、どんなことが大切なのだろう。

こういうことをして、相手はどのような気持ちかを考えて、行動したり、発言することが大切だと思います。そして、おたがいに、よく分かり合いコミュニケーションをとることが大切だと思います。自分の意見だけでなく相手の意見もうけられる。

これまでの自分は、相手の事を考えずに、発言したりしてしまっていた。今日、おたがいによく分かり合い、相手の事を考えるということを知りました。これから、相手の事もよく考えるようにしようと思いました。

よりよい友達関係を築くためには

・自分と少しちがうところがある、でも、相手を受け入れることがたがいにできれば、友達のきずなが深まると思います。

① 友達を大切にする。相手の考える。コミュニケーションをとる。

ふり返り

① 今までは、友達関係とかは、自分と同じ考えの持っている子や、ただ仲良しがいいと思っていました。

② 今日学んだことは、自分とちがうところがある、たら、完全キレてしまいで、受け入れようということを知りました。

③ これからは、相手のことを考えて、理解し合おうと思いました。